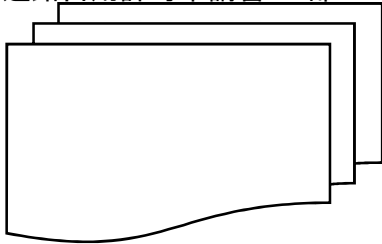


# 道路占用(道路法32条) 書類作成例

道路占用許可申請書 2部



- (1) 道路占用許可申請書
- (2) 委任状  
※業者等による代理申請時
- (3) 案内図  
※朱色等で表示
- (4) 公図写  
※朱色等で表示
- (5) 占用平面図  
※朱色等で表示
- (6) 占用断面図  
※朱色等で表示
- (7) 舗装復旧平面図  
※色分けで表示  
影響幅の標準を確認
- (8) 舗装復旧断面図  
※影響幅の標準を確認
- (9) 道路占用料減免申請書
- (10) 道路占用誓約書
- (11) 現場写真  
※3方向から撮影

協議書 2部

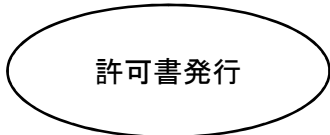


- (1) 道路工事実施協議書
- (2) 位置図  
※朱色等で表示  
迂回路を明示
- (3) 安全施設平面図  
※歩行者用通路は  
必ず設けること
- (4) 工事看板詳細図

通知書 2部



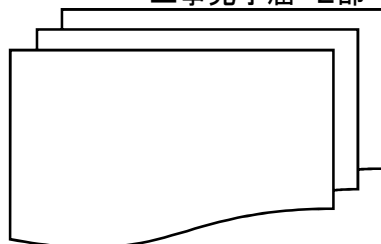
- (1) 道路の通行禁止制限実施  
に関する通知書
- (2) 位置図  
※朱色等で表示  
迂回路を明示
- (3) 安全施設平面図  
※歩行者用通路は  
必ず設けること
- (4) 工事看板詳細図



工事着手届 2部



工事完了届 2部



道路占用  
協議書

許可申請

新規	更新	変更	(第 号)
			令和 年 月 日

記入例

令和 〇 年 〇 月 〇 日

つくば市長 五十嵐 立青 様

住所 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1  
氏名 筑波 太郎 印  
担当者 筑波 花子  
電話 029-〇〇〇-〇〇〇〇

第32条

許可申請

道路法 第35条 の規定により 協議 します。

占用目的	〇〇取り出しのため		
占用場所	路線名	つくば市道 9-9999 号線	車道・歩道・その他
	場所	つくば市 研究学園一丁目1番地1	地先
占用物件	名称	規格	数量
	給水管HIVP〇〇 下水管VU〇〇 雨水管VU〇〇	外径〇〇mm 外径〇〇mm 外径〇〇mm	〇.〇m 〇.〇m 〇.〇m
占用期間	令和 年 月 日から	間	HIVP〇〇 VU〇〇 VU〇〇
	令和 年 月 日まで	構造	
工事期間	令和 〇 年 〇 月 〇 日から	〇日間	工事実施 開削工事
	令和 〇 年 〇 月 〇 日まで		
道路の復旧方法	原状復旧	添付書類	委任状、案内図、 公図写、平面図、 断面図、誓約書
備考			

記載要領

- 「許可申請」「第32条」「許可を申請協議」「第35条」及び「協議」については、該当するものを〇で囲むこと。
- |   |   |   |
|---|---|---|
| 新 | 更 | 変 |
| 規 | 新 | 更 |

については、該当するものを〇で囲み、更新、変更の場合には、従前の許可書又は回答書の番号及び年月日を記載すること。
- 申請者が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄には所属・氏名を記載すること。
- 「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が2以上の地番にわたる場合には、起点、終点を記載すること。
- 変更の許可申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを（ ）書きにすること。
- 添付書類の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。

記入例

道路占用料減免申請書

令和〇〇年 〇月 〇日

つくば市長 宛て

申請者 住所 茨城県つくば市研究学園  
一丁目1番地1

氏名 筑波 太郎 (印)

電話 029-〇〇〇-〇〇〇〇

次のとおり占用料の減免を受けたいので申請します。

占 用 の 内 容	占用目的	〇〇取り出しのため		
	占用場所	路線名	つくば市道 9-9999号線	
		場所	つくば市研究学園一丁目1番地1地先	
	占用物件	名称	規模	数量
		給水管HIVP〇〇	外径〇〇mm	〇.〇m
下水管VU〇〇		外径〇〇mm	〇.〇m	
	雨水管VU〇〇	外径〇〇mm	〇.〇m	
占用期間	年 月 日から 年 月 日まで 年間			
申請の理由 ※該当する項及び号を 記入してください	つくば市道路占用料条例第5条第__項第__号に規定する 占用物件に係る占用料であるため。 (全額免除)1項第5号 : 水道、下水道などの引込埋設管 (半額免除)2項第1号 : 敷鉄板、ゴムマット、プラ敷			

# 道路占用に関する誓約書

## 記入例

平成 年 月 日付け つくば道占第 号によって道路の占用を許可されたことについては、道路法、道路法施行令、道路占用の許可の条件を堅く厳守し、また道路占用物件の工事中、工事後の事故、占用許可の取消し、停止、許可条件の変更等に伴う損害の賠償又は占用工作物件の改築、除去、移転、施設の設置等に要する費用の賠償の要求はせず、私の負担によって実行します。

以上誓約します。

平成 年 月 日

(占有者)

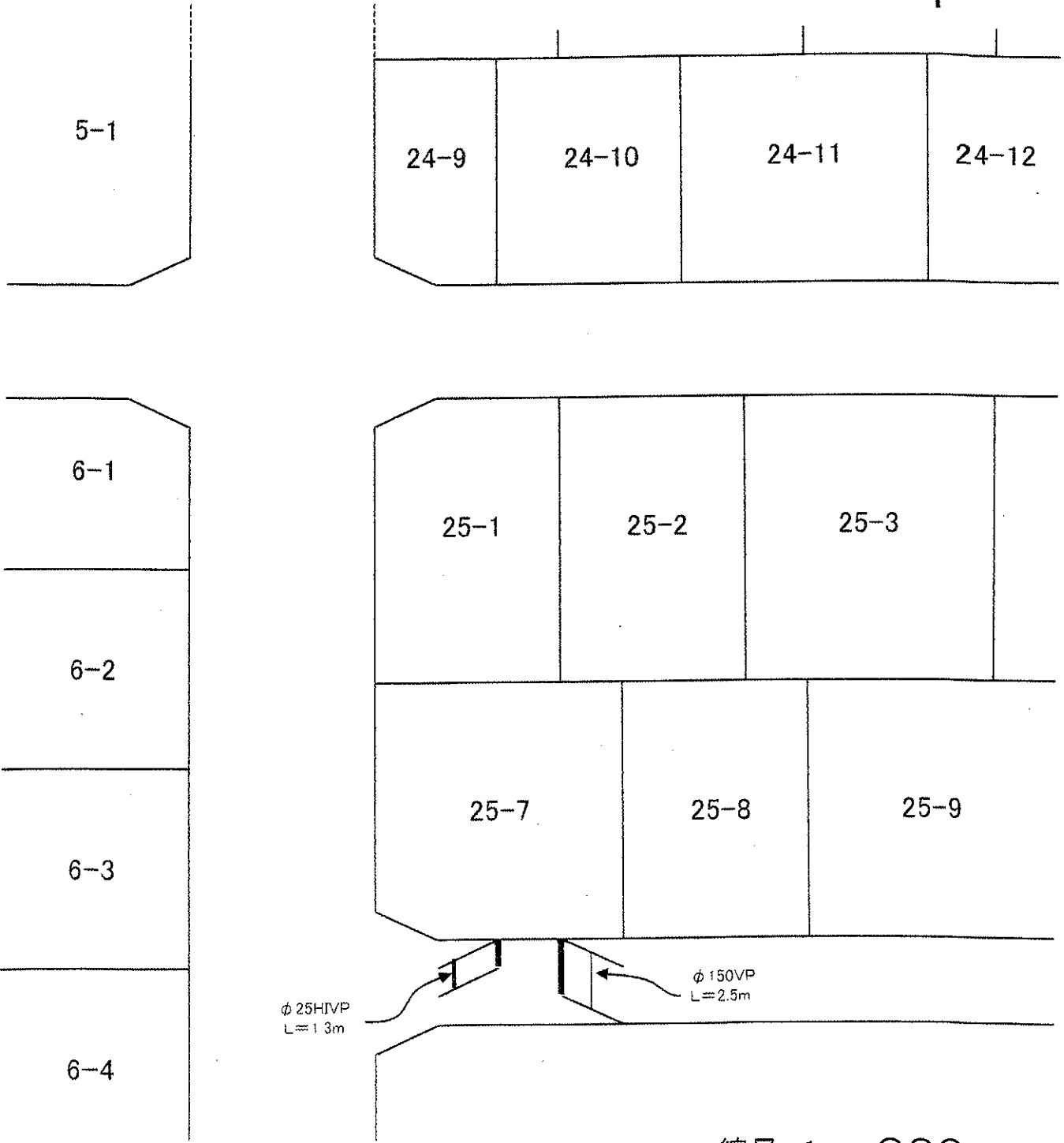
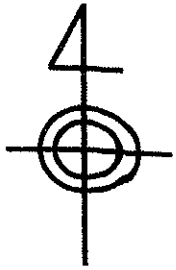
住所 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

氏名 筑波 太郎 印

連絡先 029-0000-0000

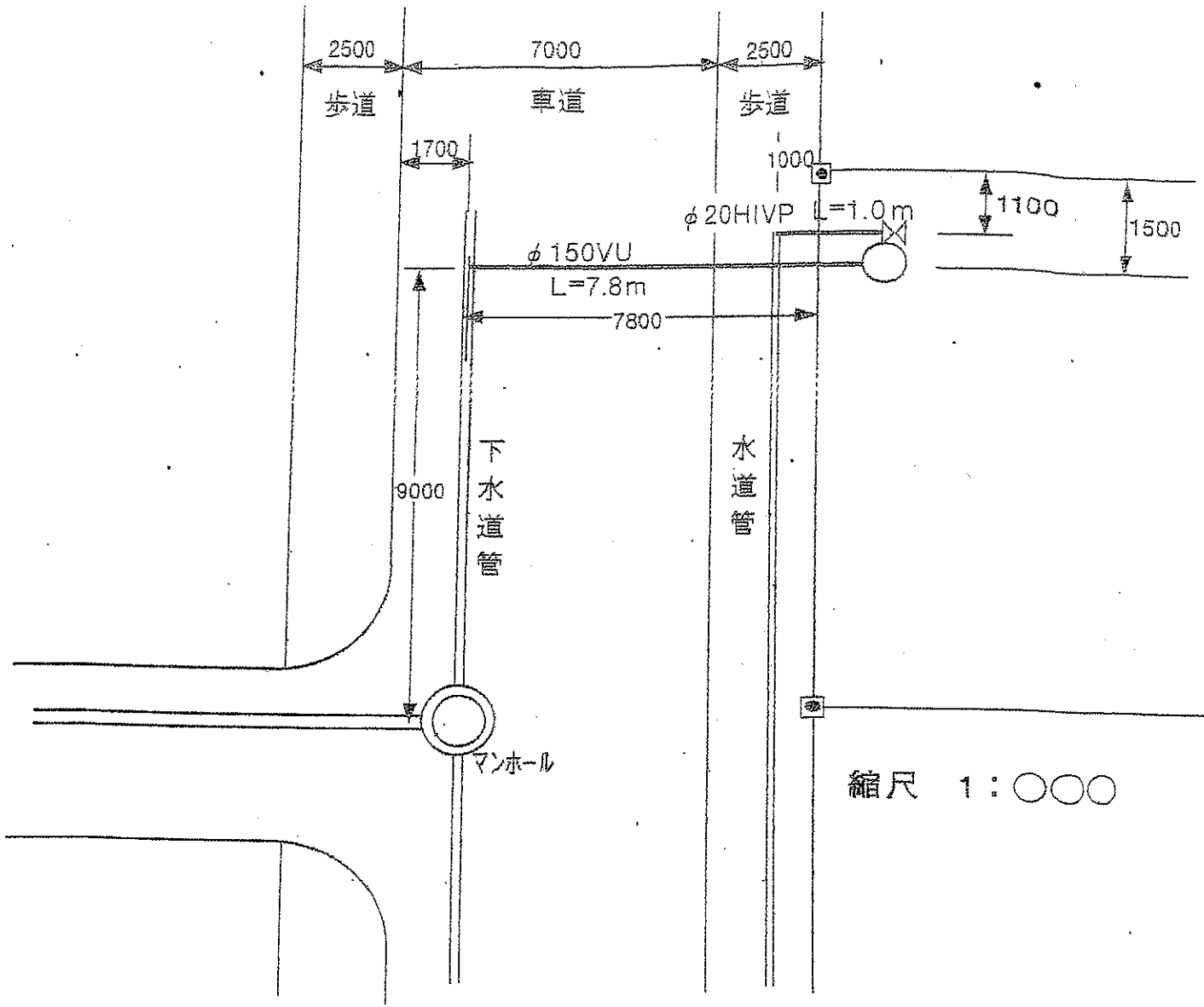
つくば市長 五十嵐 立青 様

公 図 写

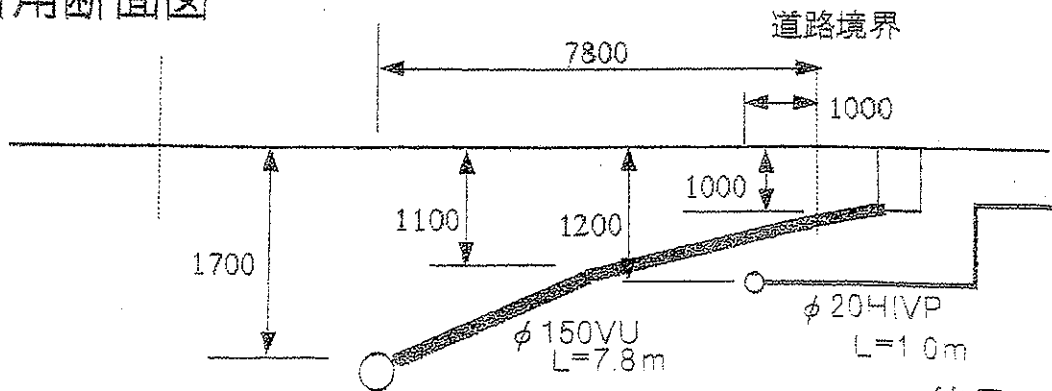


◇ 占用位置を確定するために、公図を添付すること。  
◇ 占用物件は、赤色で表示し、延長・占用物件の種類を等も赤色で表示すること。

# 占用平面図



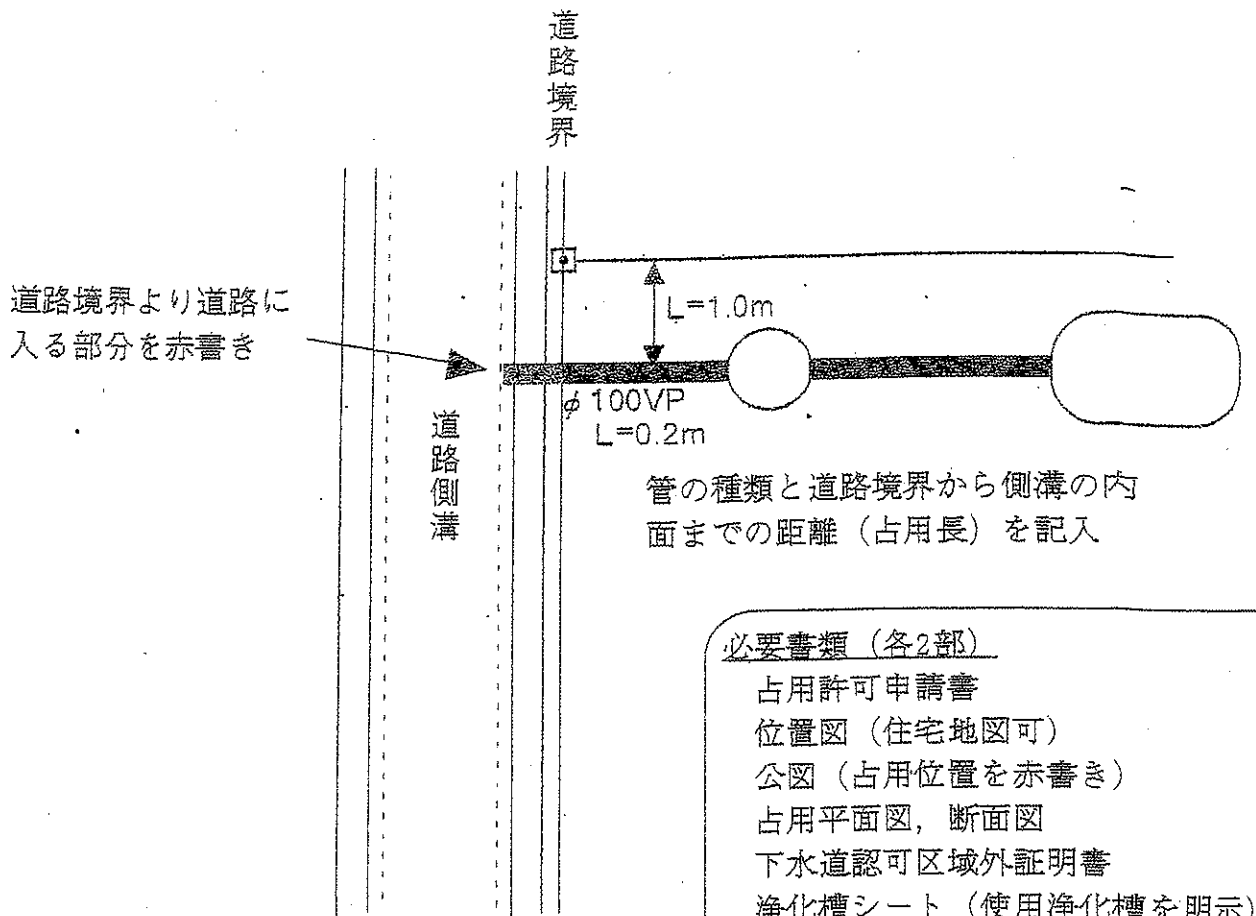
# 占用断面図



縮尺 1:1000

占用部分は赤色で表示し、延長、埋設深を記入すること。  
 起点・終点（占用位置）がわかるように、境界杭、マンホール等の構造物を利用して距離の表示をすること。

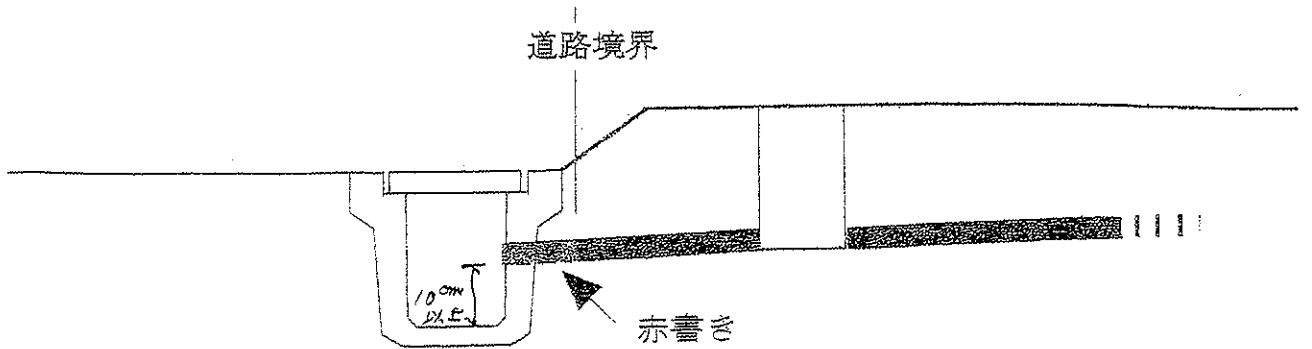
# 平面図



## 必要書類（各2部）

- ・ 占用許可申請書
- ・ 位置図（住宅地図可）
- ・ 公図（占用位置を赤書き）
- ・ 占用平面図，断面図
- ・ 下水道認可区域外証明書
- ・ 浄化槽シート（使用浄化槽を明示）
- ・ 水質に関する誓約書
- ・ 一般住宅であることが判る図面（建築確認等の図面可）

# 断面図



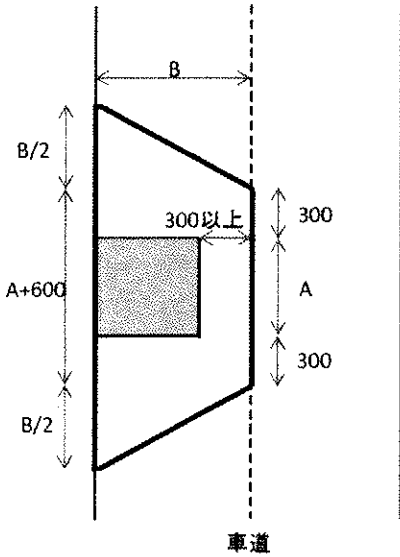
道路側溝への放流については、道路占用として取り扱います。

- 許可条件
- ・ 下水道法認可区域外の場所であること
  - ・ 一般住宅での小型合併浄化槽（10人槽以下）の処理排水の放流
  - ・ 放流水質に関しての管理を行うこと
  - ・ 申請地側に側溝があること

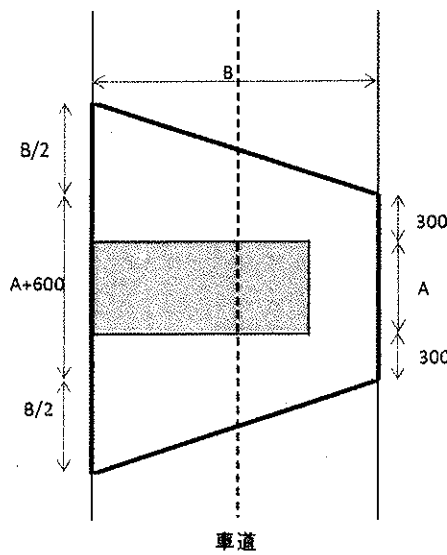
# 道路復旧形態について

掘削幅+影響幅（通常 300mm）を上底とする台形等を基本とし、道路中心または全幅員の復旧となります。線形は道路状況に合わせて選択します。

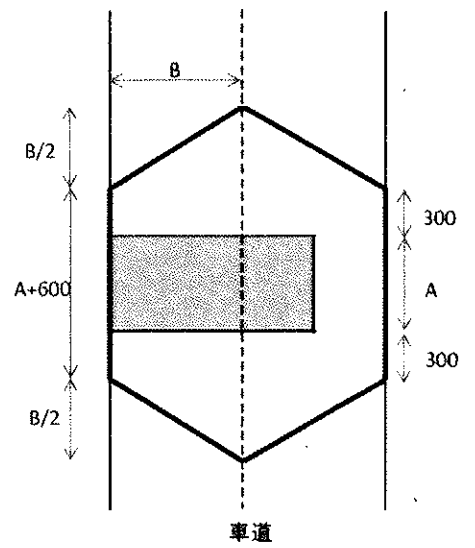
通常の道路 — 片側復旧



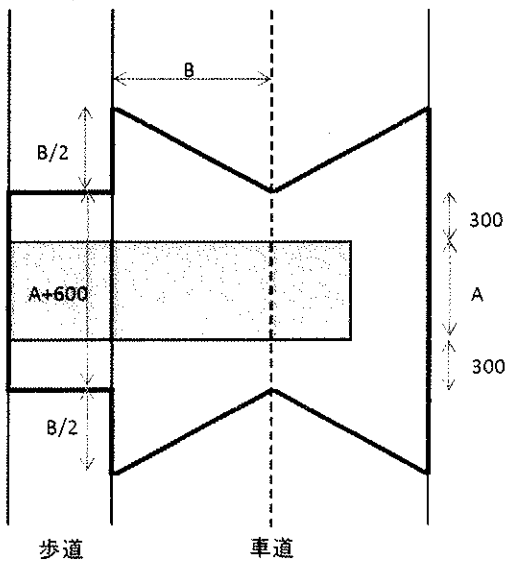
通常の道路 — 両側復旧 1



通常の道路 — 両側復旧 2

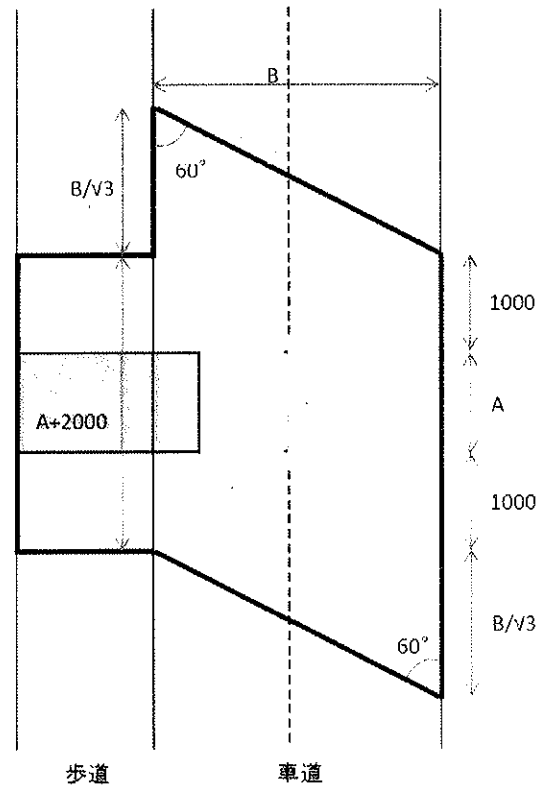


通常の道路 — 歩道がある場合



※歩道は影響幅のみの復旧で可

掘削を規制する道路 — 歩道がある場合

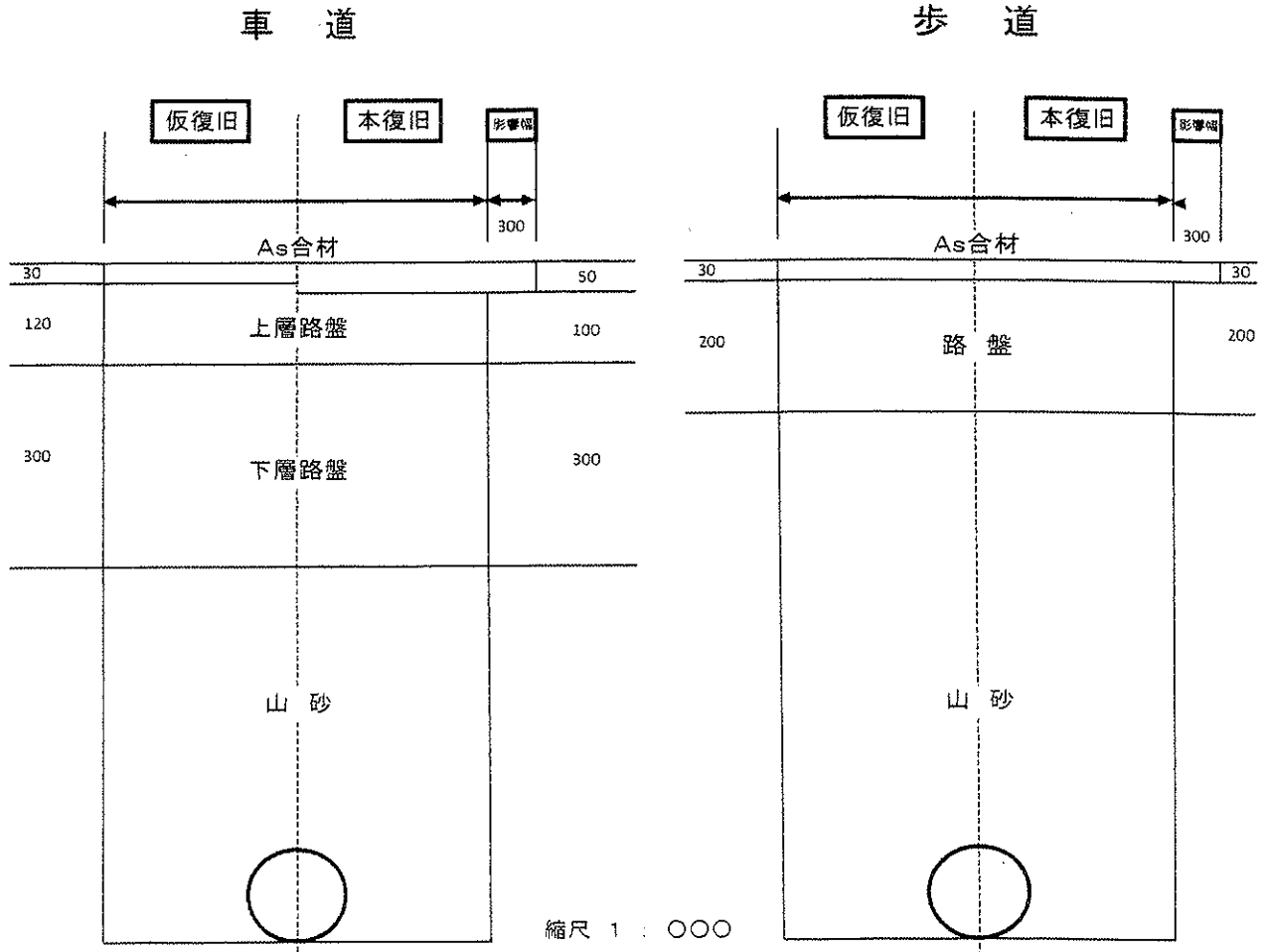


※3年以内の再掘削は原則不可

ただし、旧県道及びアスファルト2層の道路については、舗装幅員が 5.5m 未満のものにあつては全幅員を打換え、5.5m 以上のものにあつては当該掘削車線を打換えるものとします。



## 断面図



舗装構成は、路線・歩車道区分により異なるので、担当者と協議して復旧すること。

仮復旧のとき、路盤材が散乱しない様に、As合材を敷くこと。

本復旧時の舗装影響幅は、最低300mmとすること。